

## 資料4

## 議事（2）第2次村上市総合計画の総括（案）について

政策No	政策名	分野	資料掲載
1-1	健康の増進と医療体制の充実	医療	2ページ上段
1-2	子育て環境の充実	子育て	2ページ下段
1-3	高齢者の健康と安心な暮らしづくり	高齢者	3ページ上段
1-4	障がい者福祉の推進と自立支援体制づくり	障がい者	3ページ下段
1-5	総合的な福祉の推進	福祉	4ページ上段
2-1	環境の保全と新エネルギーの推進	環境	4ページ下段
2-2	生活衛生の向上と公害の防止	衛生	5ページ上段
2-3	適正な生活排水の処理推進	排水	5ページ下段
2-4	水道水の安定的な供給	水道	6ページ上段
2-5	河川・排水路の整備	河川	6ページ下段
2-6	港の整備と賑わいづくり	港	7ページ上段
2-7	地域の暮らしと活性化を担う道づくり	道路	7ページ下段
2-8	生活交通の確保・充実	交通	8ページ上段
2-9	市街地と景観の整備・保全	景観	8ページ下段
2-10	良好な住環境の整備	住環境	9ページ上段
3-1	経営の安定化と魅力ある農業づくり	農業	9ページ下段
3-2	森林資源の保全と有効活用の推進	林業	10ページ上段
3-3	水産業の活性化と消費拡大の推進	漁業	10ページ下段
3-4	商工業の活性化と市街地の賑わいづくり	商工業	11ページ上段
3-5	観光誘客活動の展開とおもてなしの環境づくり	観光	11ページ下段
3-6	就労環境の整備と雇用機会の充実	就労	12ページ上段
4-1	消防・救急体制の充実	消防救急	12ページ下段
4-2	防災体制の充実	防災	13ページ上段
4-3	防犯体制の充実と交通安全対策の推進	防犯	13ページ下段
5-1	”郷育”の推進と学習環境の整備	教育	14ページ上段
5-2	生涯を通じた学習の推進	生涯学習	14ページ下段
5-3	文化財の保存活用と芸術・文化の振興	芸術文化	15ページ上段
5-4	生涯スポーツと競技スポーツの推進	スポーツ	15ページ下段
6-1	平等社会と多文化共生の推進	人権	16ページ上段
6-2	市民協働のまちづくりの推進	市民協働	16ページ下段
6-3	広報広聴事業の推進	広報広聴	17ページ上段
6-4	ICT・情報化の整備推進	情報化	17ページ下段
6-5	行財政改革の推進	行財政	18ページ上段
6-6	広域行政の推進	広域行政	18ページ下段

政策 No	1-1	政策名	健康の増進と医療体制の充実			掲載	P26・P27
主な実施事業(取組)	○特定健診・胃がんリスク検診等の実施 ○公的病院等運営費補助金の交付 ○ゲートキーパー養成講座の実施			○高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施 ○医学生修学資金の貸与 ○後発医薬品利用差額通知等の送付			
目標値	項目	単位	現況値	目標値(R3)	実績値(R2)	達成状況	
	特定健康診査実施率	%	39.9 (H26年度)	60	43.6	未達成	
	自殺死亡率(人口10万人対)	-	36.63 (H26年)	22.0以下	16.88	達成	
	国保被保険者一人当たりの医療費	千円	380 (H27年度)	437以下 (伸び率115%以下)	401	達成	
アンケート結果	満足度(どちらかと言えば満足以上と回答した割合)				40.3%	★↑	
	重要度(やや重要以上と回答した割合)				83.9%		
担当課コメント	<p>○特定健診の受診率は40%台と低調であるが、特定保健指導率は60%を上回っており、人間ドックの受診者も増加している。今後は各種健(検)診を受けやすい体制づくりをさらに進め、健(検)診の受診率向上を図る必要がある。</p> <p>○公的病院等への支援により救急医療の確保・充実を図った。引き続き公的病院を中心とした支援の継続が必要である。また、医学生修学資金貸与制度など、今後も医療資源の確保のための取り組みを強化していく必要がある。</p> <p>○自殺死亡率は増減を繰り返しながら減少傾向にあり一定の成果が得られたが、今後も関係機関と自殺予防のネットワークを図り、連携して自殺予防対策を推進していく必要がある。</p>						

政策 No	1-2	政策名	子育て環境の充実			掲載	P28・P29
主な実施事業(取組)	○不妊治療費の助成 ○妊婦一般健康診査の実施 ○3歳未満児保育や延長・休日保育の実施			○乳幼児健康診査の実施 ○朝日・山北地区の保育園統合 ○病児・病後児保育施設の拡充			
目標値	項目	単位	現況値	目標値(R3)	実績値(R2)	達成状況	
	年間出生数	人	362 (H26年)	360	250 (R1年)	未達成	
	3～5歳児の肥満出現率	%	5.3 (H27年度)	5.3以下	6.01	未達成	
	子育て支援センター利用者数	人	29,751 (H27年度)	33,500	12,562	未達成	
	病児保育施設数 (体調不良児対応型含む)	箇所	1 (H27年度)	4	4	達成	
アンケート結果	満足度(どちらかと言えば満足以上と回答した割合)				29.8%	★↑	
	重要度(やや重要以上と回答した割合)				78.1%		
担当課コメント	<p>○不妊治療費助成件数は微増傾向であり妊娠出産につながっているが、引き続き周知を図るとともに不育に対する新たな支援も検討していく必要がある。</p> <p>○乳幼児健康診査の受診率は約97%と高く、継続的な相談支援が実施できている。更に今後は月齢に合わせた適正な時期に検診が受けられるよう健診体制について検討していく。また、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援のため取組を充実させる必要がある。</p> <p>○3歳未満児保育は民間の認可保育園の開所により受皿が拡充された。今後も民間活力の導入により保育サービスの充実を図るとともに、研修の充実を図り保育士の資質向上に努める。</p>						

政策No	1-3	政策名	高齢者の健康と安心な暮らしづくり			掲載	P30・P31
主な実施事業(取組)	○老人クラブ・シルバー人材センターへの支援      ○ボランティアポイント事業の実施 ○互近所ささえ～る隊による活動                      ○認知症サポーター養成講座の実施 ○地域密着型サービス等事業所の公募                  ○介護人材確保推進事業給付金の給付 ○介護職員等キャリアアップ支援事業費の補助      ○高校生向け介護事業所見学ツアーの実施						
目標値	項目	単位	現況値	目標値(R3)	実績値(R2)	達成状況	
	通所型サービスの地域運営事業実施集落数	箇所	1 (H28年度)	19	3	未達成	
	街中お年寄り愛所登録数	件	77 (H28年度)	100	89	未達成	
	法人後見事業所数	件	－	1	1	達成	
アンケート結果	満足度（どちらかと言えば満足以上と回答した割合）					31.1%	
	重要度（やや重要以上と回答した割合）					80.5%	
担当課コメント	○老人クラブ等への支援により、仲間や生きがいづくりを進め一定の成果は得られたが、活動者数等が減少傾向にある。引き続き支援を行うとともに、高齢者のボランティア活動の促進など高齢者が活動に参画しやすい環境づくりが必要である。 ○生活支援の拠点づくり（通所型サービス）については、出前講座や地域座談会などにより意識啓発を図ってきたが、目に見える仕組みづくりまでには至っていない。今後も広報や出前講座等により、市民の意識啓発を図る必要がある。 ○介護人材確保推進事業給付金の活用により、職員の採用実績につながっている。また、市内介護事業所への就職につながるよう、高校生向けの事業所見学ツアーを実施した。今後も介護人材の確保・育成に努める必要がある。						

政策No	1-4	政策名	障がい者福祉の推進と自立支援体制づくり			掲載	P32・P33
主な実施事業(取組)	○生活支援に関する各種業務の委託                      ○福祉タクシー利用の助成 ○人工透析通院の助成    ○地域活動支援センター通所の助成 ○障がい者団体への支援    ○成年後見制度の利用促進						
目標値	項目	単位	現況値	目標値(R3)	実績値(R2)	達成状況	
	相談支援専門員数	人	11 (H27年度)	15	15	達成	
	法人後見事業所数	件	－	1	1	達成	
	障がい者の就労移行者数	人	3 (H27年度)	5	5	達成	
アンケート結果	満足度（どちらかと言えば満足以上と回答した割合）					21.6%	
	重要度（やや重要以上と回答した割合）					71.0%	
担当課コメント	○障がい者が自ら望む地域生活を営むことができるための支援や専門機関の紹介等を行った。また、ハローワークや障がい事業所等の関係機関とともに、障がい者の就労の場の確保に努めた。 ○成年後見制度の紹介や研修会を実施し、障がい者の権利擁護に努めた。今後も必要な方に利用してもらえるように、制度の周知に努める。 ○各種助成により、障がい者の外出や社会参加機会の向上を図り自立促進に努めた。今後も障がい者が自分らしく安心して暮らすことのできる場の確保が必要である。						

政策No	1-5	政策名	総合的な福祉の推進			掲載	P34・P35
主な実施事業(取組)	○社会福祉協議会への支援 ○生活保護世帯の自立に向けた就労支援 ○住宅確保給付金の支給			○子ども・若者総合サポート会議の設置 ○生活困窮者の自立に向けた相談支援 ○子どもの学習支援			
目標値	項目	単位	現況値	目標値(R3)	実績値(R2)	達成状況	
	生活保護から自立した世帯数	世帯	19 (H27年度)	27	29	達成	
アンケート結果	満足度（どちらかと言えば満足以上と回答した割合）				21.1%	★↑	
	重要度（やや重要以上と回答した割合）				72.5%	★→	
担当課コメント	<p>○多職種・異業種交流研修会等により、顔の見える関係づくりができたことで、連携が良くなり一定の成果を得られたが、地域における支え合いの点では取組を強化していく必要がある。</p> <p>○子ども・若者総合サポート会議に参集する関係機関との情報共有や連携を図ることで児童虐待の予防・早期発見に向けた協力体制の拡大に努めた。今後もより一層、関係機関への周知啓発と連携強化を進めていく必要がある。</p> <p>○生活困窮者の自立に向けた相談体制は、関係機関との連携が密に取れケースに応じた役割分担が機能しているが、今後も生活困窮者の自立への支援・指導を図る必要がある。</p>						

政策No	2-1	政策名	環境の保全と新エネルギーの推進			掲載	P36・P37
主な実施事業(取組)	○環境美化活動団体への支援 ○セナミスミレ保護区の継続 ○住宅用太陽光発電システム設置補助金の交付			○環境フェスタ開催による意識啓発の推進 ○外来種生息場所の現場確認 ○木質バイオマスストーブ設置費補助金の交付			
目標値	項目	単位	現況値	目標値(R3)	実績値(R2)	達成状況	
	環境フェスタ入場者数	人	500 (H27年度)	600	中止	-	
	温室効果ガスの年間総排出量	千t-CO2	489.9 (H25年度)	435.4 (R2年度)	470.5 (H30年度)	未達成	
アンケート結果	満足度（どちらかと言えば満足以上と回答した割合）				17.5%	↑	
	重要度（やや重要以上と回答した割合）				60.3%	★→	
担当課コメント	<p>○環境美化活動を通じて、環境に対する市民の関心が高まった。今後も環境保全活動を推進していく必要がある。</p> <p>○環境フェスタの来場者数は増加傾向であったが、台風等の影響により中止が続いている。今後も自然環境保全への意識啓発を推進していく必要がある。</p> <p>○住宅用太陽光発電システムや木質バイオマスストーブなど、再生可能エネルギーの利用により温室効果ガスの削減が図られ温暖化対策へ寄与できていると考えている。今後も新エネルギーの普及促進を図り温室効果ガスの削減に努める必要がある。</p>						

政策 No	2-2	政策名	生活衛生の向上と公害の防止			掲載	P38・P39
主な実施事業(取組)	○家庭系ごみの分別啓発 ○ごみ処理場焼却灰の資源化 ○火葬場の適正管理			○事業系ごみの搬入検査等の実施 ○臭気測定・水質検査の実施 ○無縁墳墓等の改葬			
目標値	項目	単位	現況値	目標値(R3)	実績値(R2)	達成状況	
	家庭系ごみの総排出量	t	18,499 (H27年度)	16,542	17,299	未達成	
	事業系ごみの総排出量	t	7,676 (H27年度)	5,002	6,934	未達成	
	リサイクル率	%	20.8 (H27年度)	28.5	20.7	未達成	
アンケート結果	満足度（どちらかと言えば満足以上と回答した割合）				39.6%	↑ ★	
	重要度（やや重要以上と回答した割合）				66.2%		
担当課コメント	<p>○焼却灰再資源化の取組により、リサイクル率の向上が図られたが、今後も再資源化を進めるとともに、家庭系ごみの分別徹底等によりリサイクル率の向上を図る必要がある。</p> <p>○市報やチラシなどによる啓発活動により、ごみの分別や3R（ごみの発生抑制や再使用、再生利用）の意識向上が図られたが、今後も家庭系・事業系ごみの減量化やリサイクル率向上に向けた啓発活動を強化していく必要がある。</p> <p>○臭気測定や水質検査の結果、環境基準を超えた場合は指導を行うなど監視を継続してきた。今後も各種検査による監視の継続と、公害の未然防止ができる体制づくりを進める必要がある。</p>						

政策 No	2-3	政策名	適正な生活排水の処理推進			掲載	P40・P41
主な実施事業(取組)	○村上処理区污水管渠の整備 ○烏川1-3号雨水幹線の整備 ○排水設備資金の貸与 ○地方公営企業会計の適用			○農業集落排水施設の機能強化 ○水洗化の普及促進 ○下水道事業経営戦略の策定 ○基本料金及び従量料金の統一			
目標値	項目	単位	現況値	目標値(R3)	実績値(R2)	達成状況	
	整備面積進捗率	%	96.6 (H27年度)	100	97.5	未達成	
	公共下水道水洗化率	%	66.5 (H27年度)	79	73.2	未達成	
	農業集落排水水洗化率	%	80.9 (H27年度)	85	86.1	達成	
アンケート結果	満足度（どちらかと言えば満足以上と回答した割合）				48.3%	↑ ★	
	重要度（やや重要以上と回答した割合）				69.0%		
担当課コメント	<p>○村上処理区の污水管渠整備について、計画的に整備を進めており、令和3年度の完了見込み。</p> <p>○農業集落排水施設は、機能強化計画に基づき改築更新事業を計画的に進めている。今後も施設の延命と機能保持に努める必要がある。</p> <p>○市街地の浸水対策として烏川雨水幹線の整備に着手した。今後も計画的に整備を進め浸水被害の解消を図る必要がある。</p> <p>○公共下水道の水洗化率目標が未達成であり、公共下水道区域における重点的な普及・啓発により水洗化の促進を図る必要がある。</p>						

政策 No	2-4	政策名	水道水の安定的な供給			掲載	P42・P43
主な実施事業(取組)	○荒川地区第3次拡張事業の実施 ○南大平・指合・河内地区簡易水道の統合 ○水道台帳システムの構築			○村上地区第4次拡張事業の実施 ○老朽管の改良 ○簡易水道事業の地方公営企業法適用			
目標値	項目	単位	現況値	目標値(R3)	実績値(R2)	達成状況	
	配水池耐震化率	%	52 (H27年度)	60	59	未達成	
	上水道有収率	%	85 (H27年度)	88	83	未達成	
	経常収支比率	%	108 (H27年度)	110	108	未達成	
アンケート結果	満足度(どちらかと言えば満足以上と回答した割合)				58.8%		
	重要度(やや重要以上と回答した割合)				75.4%		
担当課コメント	<p>○拡張事業の荒川地区は令和元年度に完了。村上地区は令和3年度完了予定であり、今後は朝日地区の基本計画を策定し実施していく予定である。</p> <p>○南大平・指合・河内地区の簡易水道を平成29年度に上水道に統合した。また、上山田地区飲料水供給施設についても、令和元年度に上水道統合を完了している。</p> <p>○平成30年度から水道台帳システムの構築に着手し、令和4年度の完成を目指して整備を進めている。今後も管路の耐震化と合わせ、災害に強い給水体制の確立が必要である。</p> <p>○地方公営企業法の適用により、財務状況等の透明性を図ることができたが、給水人口の減少や管路の改修を見据え、安定した経営に努める必要がある。</p>						

政策 No	2-5	政策名	河川・排水路の整備			掲載	P44・P45
主な実施事業(取組)	○岩船地区の冠水対策 ○普通河川滝矢川の改修 ○準用河川恵ビス川の施設補修			○清水川排水路の改修 ○水辺の楽校設備の整備 ○市管理河川の河床掘削			
目標値	項目	単位	現況値	目標値(R3)	実績値(R2)	達成状況	
	河川整備護岸整備延長	m	457 (H27年度)	897	674	未達成	
	排水路整備延長	m	1,539 (H27年度)	2,714	2,150	未達成	
アンケート結果	満足度(どちらかと言えば満足以上と回答した割合)				39.3%		
	重要度(やや重要以上と回答した割合)				67.4%		
担当課コメント	<p>○岩船地区の冠水対策や仲間町地内の清水川排水路の改修により、大雨時に発生していた冠水や越水は生じていない。</p> <p>○普通河川滝矢川の改修は、計画延長に対し44.9%の進捗であり、浸水被害の防止を図るため、未改修区間の整備を加速し事業効果を高める必要がある。</p> <p>○府屋地内の恵ビス川の暗渠施設を補修し、施設の長寿命化を図った。また、市管理河川の堆積土砂の撤去や支障木の伐採を行った。今後も河川災害の未然防止に向けた維持管理を推進していく必要がある。</p>						

政策No	2-6	政策名	港の整備と賑わいづくり			掲載	P46・P47
主な実施事業(取組)	○航路の浚渫 ○イベント情報の広域的な発信 ○港湾管理者による環境施設の整備			○防砂堤の整備 ○みなとオアシス看板の設置 ○港湾施設等の整備促進に向けた要望活動			
目標値	項目	単位	現況値	目標値(R3)	実績値(R2)	達成状況	
	防砂堤の整備率	%	5 (H27年度)	100	19	未達成	
	イベント来客数	人	14,100 (H27年度)	16,920	300	未達成	
	荷役取扱量	t	210,612 (H27年度)	231,000	134,928	未達成	
アンケート結果	満足度（どちらかと言えば満足以上と回答した割合）				21.9%		
	重要度（やや重要以上と回答した割合）				43.2%		
担当課コメント	<p>○港湾管理者等への事業要望により、継続的に航路の浚渫が行われ、港湾利用者の安全な航行が図られている。</p> <p>○防砂堤の整備については、平成31年度以降中断され計画の19%の進捗となっていることから、事業の再開や加速化に向けた要望活動を行う必要がある。</p> <p>○国土交通省のホームページを活用した広域的な情報発信を行い、賑わい創出や知名度向上に貢献している。また、環境施設としてトイレの洋式化や駐車場の再編が行われ、来訪者の利便性や快適性の向上が図られた。</p>						

政策No	2-7	政策名	地域の暮らしと活性化を担う道づくり			掲載	P48・P49
主な実施事業(取組)	○市道桃川牧目線の道路改良 ○日本海沿岸東北自動車道の整備促進 ○橋梁長寿命化対策事業の実施			○市道下新保1512号線の道路改良 ○市道山屋前谷線の歩道整備 ○通学路の安全確保			
目標値	項目	単位	現況値	目標値(R3)	実績値(R2)	達成状況	
	幹線市道整備延長	km	6.53 (H27年度)	7.70	6.88	未達成	
	歩道（歩行空間）整備延長	km	89.2 (H27年度)	91.2	90.1	未達成	
	協働による道路環境美化協力団体数	団体	5 (H27年度)	10	8	未達成	
アンケート結果	満足度（どちらかと言えば満足以上と回答した割合）				37.7%		
	重要度（やや重要以上と回答した割合）				73.9%		
担当課コメント	<p>○インターチェンジや国県道と連絡する幹線市道等の整備を行い、利用者の利便性が向上した。</p> <p>○日本海沿岸東北自動車道の事業進捗は約28%、用地進捗率は約97%（令和2年度末）であり、順調に事業促進している。今後も、さらなる事業促進に向けて事業PRを行い啓発活動を進める必要がある。</p> <p>○橋梁長寿命化計画に基づき計画的に修繕を実施し機能保全を図ってきたが、橋梁などの道路施設が多く、老朽化により健全度が低下していることから計画的に修繕等を行う必要がある。</p>						

政策No	2-8	政策名	生活交通の確保・充実			掲載	P50・P51
主な実施事業(取組)	○地域公共交通計画の策定 ○廃止代替路線バスに対する補助 ○各種のりありタクシーの運行			○村上総合病院移転に伴う運行ルートの変更 ○まちなか循環バス・せなみ巡回バスの運行 ○まちなか循環バスに低床バス車両の導入			
目標値	項目	単位	現況値	目標値(R3)	実績値(R2)	達成状況	
	まちなか循環バスの年間利用者数	人	13,558 (H27年度)	14,558	10,980	未達成	
	せなみ巡回バスの年間利用者数	人	5,239 (H27年度)	5,639	5,132	未達成	
	路線バス利用者数	人	144,222 (H27年度)	151,434	97,552	未達成	
アンケート結果	満足度（どちらかと言えば満足以上と回答した割合）				16.9%	★↑ →	
	重要度（やや重要以上と回答した割合）				69.8%		
担当課コメント	<p>○令和2年度に地域公共交通計画を策定した。今後は計画に沿った各種施策を展開するとともに公共交通に対するニーズを把握し、地域の現状に応じた持続可能な公共交通体系の整備を図る必要がある。</p> <p>○少子化や人口減少の進行と自家用車から公共交通への転換が進んでいないことにより、公共交通利用者が著しく減少している。今後は普段から公共交通を利用する方や観光客などをメインとした分析調査を実施しながら、有効な公共交通の運行を図る必要がある。</p> <p>○国やJRに対しての要望活動を実施し、新潟駅での接続改善や立体交差事業などの早期着手に寄与することが出来た。今後も引き続き各同盟会との連携を強化して要望活動を継続していく。</p>						

政策No	2-9	政策名	市街地と景観の整備・保全			掲載	P52・P53
主な実施事業(取組)	○歴史的風致維持向上計画に基づく事業の推進 ○景観セミナーの開催 ○都市計画の見直し			○景観形成助成金の交付 ○都市計画道路の整備 ○村上総合病院移転新築周辺道路の整備			
目標値	項目	単位	現況値	目標値(R3)	実績値(R2)	達成状況	
	景観形成助成金申請件数（累計）	件	9 (H27年度)	40	36	未達成	
	建造物外観修景事業実施率	%	0 (H28年度)	20	26	達成	
	村上総合病院移転新築に伴う周辺道路の整備率	%	2 (H28年度)	100	100	達成	
アンケート結果	満足度（どちらかと言えば満足以上と回答した割合）				27.5%	↑ →★	
	重要度（やや重要以上と回答した割合）				53.4%		
担当課コメント	<p>○建造物の外観修景事業については、建築士会やまちづくり団体等と連携を図りながら事業を実施し、老朽化したアーケードの撤去などによって村上らしい町並みを再現しつつある。</p> <p>○景観計画に基づく届出や助成金の交付により、良好な景観を形成できるよう規制・誘導を図っている。</p> <p>○荒川地域内の未利用地活用を図るため、南中央線の整備を進めている。また、今後も事業着手が困難な長期未着手道路については、引き続き計画の見直しを進めていく必要がある。</p>						



政策 No	2-10	政策名	良好な住環境の整備			掲載	P54・P55
主な実施事業(取組)	○公営住宅の改修 ○公園の維持管理・大型遊具の新設 ○空き家バンク事業の実施			○木造住宅耐震改修の促進 ○空き家等対策計画の策定 ○空き家バンク移住応援補助金の交付			
目標値	項目	単位	現況値	目標値(R3)	実績値(R2)	達成状況	
	公営住宅の長寿命化計画の達成率	%	30 (H27年度)	90	80	未達成	
	木造住宅の耐震診断申請者数(累計)	件	46 (H27年度)	70	62	未達成	
	空き家バンク事業成約件数	件	20 (H27年度)	40	42	達成	
アンケート結果	満足度(どちらかと言えば満足以上と回答した割合)				13.8%		
	重要度(やや重要以上と回答した割合)				65.0%		
担当課コメント	<p>○木造住宅の耐震診断は補助制度により一定の成果は得られたが、耐震改修に対する申請が少なく耐震対策に対するさらなる意識啓発に努めていく必要がある。</p> <p>○一部の公園で大型遊具等の新設やリニューアルを行い、利便性の維持・向上を図ったが、老朽化が進み修繕できない施設については、今後も撤去や更新・新設を進めていく必要がある。</p> <p>○管理不全空き家等の所有者に対しての指導・助言により、管理不全は少しずつ解消されてきているが、管理不全に至る前の利活用対策を含め、さらに踏み込んだ空き家対策が必要である。</p>						

政策 No	3-1	政策名	経営の安定化と魅力ある農業づくり			掲載	P56・P57
主な実施事業(取組)	○食の村上ブランドの推進 ○農業委員・推進委員による相談活動 ○有害鳥獣捕獲担い手確保事業補助金の交付			○就農支援事業補助金の交付 ○環境保全型農業直接支払交付金の交付 ○村上地域グリーン・ツーリズムの推進			
目標値	項目	単位	現況値	目標値(R3)	実績値(R2)	達成状況	
	農地・農業用施設保全活動取組集落数	集落	146 (H27年度)	150	150	達成	
	新規就農者数(累計)	人	16 (H27年度)	20	19	未達成	
	村上牛出荷頭数	頭	289 (H27年度)	420	317	未達成	
	有害鳥獣被害額	円	2,819,000 (H27年度)	2,255,000 (20%減少)	4,830,000	未達成	
アンケート結果	満足度(どちらかと言えば満足以上と回答した割合)				15.8%		
	重要度(やや重要以上と回答した割合)				66.2%		
担当課コメント	<p>○首都圏や県内を中心とした市外の飲食業者を対象に、食材商談会や産地見学会を実施してきたが、今後はSNSを活用した情報発信や生産者が参加しやすい方法を検討していく必要がある。</p> <p>○就農初期段階の就農者に対して補助金を交付することで、就農意欲の喚起と就農後の定着を図ってきたが、今後も新規就農者の増加と就農後の定着を図る取組を進める必要がある。</p> <p>○令和2年度はイノシシ被害が平野部まで増大した。罠の貸与や技術講習会の開催により捕獲頭数は増加したが、今後も電気柵の設置などで農作物被害の防止に努める必要がある。</p>						

政策No	3-2	政策名	森林資源の保全と有効活用の推進			掲載	P58・P59
主な実施事業(取組)	○治山事業の実施 ○森林基幹道岩船東部線の開設推進 ○林間ワサビ栽培奨励事業の補助			○松くい虫の防除 ○市産材利用住宅等建築奨励事業の補助 ○林業チャレンジ体験事業の実施			
目標値	項目	単位	現況値	目標値(R3)	実績値(R2)	達成状況	
	林業の新規就業者数(累計)	人	5 (H27年度)	10	8	未達成	
	市産材利用住宅等建築奨励事業における市産材使用量	m3	1,000 (H27年度)	1,400	952	未達成	
	林間ワサビ栽培の面積	ha	0.3 (H27年度)	0.5	0.1	未達成	
アンケート結果	満足度(どちらかと言えば満足以上と回答した割合)				14.3%		
	重要度(やや重要以上と回答した割合)				56.5%		
担当課コメント	<p>○高度公益機能森林や地区保全森林の保全のため松くい虫防除を実施し、被害量は減少している。</p> <p>○岩船東部線開設の推進と林道の改良事業により、効率的な林業経営や素材生産の低コスト化に貢献している。今後も引き続き事業推進と改良事業を進める必要がある。</p> <p>○市産材利用住宅等建築奨励事業により、市産材利用が促進されている。また、林間ワサビについては、特産品として道の駅等で販売されているが、新規生産者の確保と販路拡大につながる取組が必要である。</p> <p>○林業の担い手育成支援として小学生と親子を対象とした林業体験を実施し、森林・林業への関心は高くなっているが、今後は新規就労を見据えた中高生を対象とした取組も必要である。</p>						

政策No	3-3	政策名	水産業の活性化と消費拡大の推進			掲載	P60・P61
主な実施事業(取組)	○岩ガキの生息域拡大 ○清浄海水導入施設の整備 ○新規漁業就業者の支援			○桑川・脇川漁港の機能保全 ○稚魚放流事業の支援 ○地元水産物のPR推進			
目標値	項目	単位	現況値	目標値(R3)	実績値(R2)	達成状況	
	新規就業者数(累計)	人	4 (H27年度)	10	6	未達成	
	岩船港・山北市場における水揚量	t	3,488 (H27年度)	3,500	2,111	未達成	
	イヨボヤ会館入館者数	人	49,883 (H27年度)	60,000	32,675	未達成	
アンケート結果	満足度(どちらかと言えば満足以上と回答した割合)				15.3%		
	重要度(やや重要以上と回答した割合)				54.4%		
担当課コメント	<p>○岩ガキの生息域拡大のため、藻場の造成工事を行った。今後も良好な生育環境づくりに努め、安定的な水揚量の確保を図る必要がある。</p> <p>○清浄海水導入施設の整備により魚介類を海水洗浄し鮮度維持を図ることが出来た。今後も水産資源の持続的な維持・活用を図っていく必要がある。</p> <p>○新規漁業就業者に対しH30年度に補助制度を創設したが、国の制度を活用する就業者が多い状況である。国の予算枠が削減傾向にあることから市の支援制度をさらに周知していく必要がある。</p>						

政策No	3-4	政策名	商工業の活性化と市街地の賑わいづくり		掲載	P62・P63
主な実施事業(取組)	○産業支援プログラム事業補助金の交付 ○堆朱のまち村上再生事業の実施 ○事業拡張企業への支援		○先端設備等導入計画認定による税の軽減 ○空き地・空き事務所等の新規掘り起こし ○企業設置奨励条例による優遇措置			
目標値	項目	単位	現況値	目標値(R3)	実績値(R2)	達成状況
	市補助制度を活用した創業件数(累計)	件	-	20	26	達成
	市補助制度を活用した新規雇用者数(累計)	人	-	5	2	未達成
	市補助制度を活用し空き店舗を使った創業者数(累計)	人	-	5	8	達成
	新規企業立地件数(累計)	件	-	3	3	達成
	市内企業の建物等の設備投資(累計)	件	-	10	35	達成
アンケート結果	満足度(どちらかと言えば満足以上と回答した割合)				14.8%	★↑
	重要度(やや重要以上と回答した割合)				70.2%	
担当課コメント	<p>○既存事業者による空き店舗の活用に対して支援を行い、空き店舗の活用を促したが、町屋区域内での空き店舗は賃貸まで至っていない。今後は多方面での活用を検討していく必要がある。</p> <p>○村上木彫堆朱振興のため首都圏を中心として認知向上施策を実施し、一定の成果は得られたが漆器産業が低迷する中で、売上の増加にはつながっていない。今後は堆朱組合での取組に対するサポートや新たな後継者の掘り起こしを図る必要がある。</p> <p>○企業誘致の際に最も懸念されるのが人材不足である。企業誘致を進めると同時に若年者の市内就職率向上とUIターン施策も強化する必要がある。</p>					

政策No	3-5	政策名	観光誘客活動の展開とおもてなしの環境づくり		掲載	P64・P65
主な実施事業(取組)	○英語・中国語等の観光パンフレット制作 ○ふるさと納税返礼品による物産振興 ○テレビ・雑誌等による観光情報の発信		○市内観光施設の整備 ○各種協議会による広域連携の推進 ○SNS活用による観光プロモーションの実施			
目標値	項目	単位	現況値	目標値(R3)	実績値(R2)	達成状況
	観光入込客数	人	2,289,840 (H27年度)	2,580,000	1,280,123	未達成
	外国人入込客数	人	1,800 (H27年度)	4,500	67	未達成
アンケート結果	満足度(どちらかと言えば満足以上と回答した割合)				21.2%	★↑
	重要度(やや重要以上と回答した割合)				65.9%	
担当課コメント	<p>○海外向けの情報発信と海外来訪者向けのパンフレット作成により、外国人が取得しやすい環境整備を実施したが、コロナ禍により外国人入込客数は激減した。</p> <p>○日本海きらきら羽越観光圏推進協議会におけるモニターツアー等の事業により、広域連携を推進することが出来た。今後も滞在型・体験型観光地の形成を図り、観光入込客数の増加を目指す必要がある。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症拡大により、旅行スタイルの変化が想定されるため、適切なプロモーションを検討し、社会情勢に合わせた情報発信を行っていく必要がある。</p>					

政策No	3-6	政策名	就労環境の整備と雇用機会の充実		掲載	P66・P67
主な実施事業(取組)	○創業塾や創業応援事業補助金による支援 ○若者サポートステーションによる支援 ○女性就労環境向上事業補助金の交付		○岩船郡・村上市雇用対策協議会への支援 ○高校生の就職面接会やバスツアーの実施 ○高校生インターンシップの実施			
目標値	項目	単位	現況値	目標値(R3)	実績値(R2)	達成状況
	ハッピー・パートナー企業登録数	社	26 (H27年度)	36	42	達成
	新卒高校生の市内就職率	%	62.3 (H27年度)	70	56.7	未達成
	就労相談利用者の就職者数	人	-	150	93	未達成
アンケート結果	満足度（どちらかと言えば満足以上と回答した割合）				12.0%	★↑ →
	重要度（やや重要以上と回答した割合）				76.5%	
担当課コメント	<p>○若年無業者に対するジョブトレーニングや各種セミナーにより、労働力確保に一定の効果があった。また、岩船郡・村上市雇用対策協議会事業を通じて地元採用策への支援も行った。</p> <p>○高校生の就職面接会や建設業紹介バスツアーの実施により、高校生と市内企業の接点を増やすことで市内企業への就職を促進した。今後も若者の地元就職への意欲向上を図り市内就職率の向上を図る必要がある。</p> <p>○女性就労環境向上の支援により、職場の環境整備が促進された。今後も女性の就労環境の向上や男女が共に働きやすい職場環境づくりに努める必要がある。</p>					

政策No	4-1	政策名	消防・救急体制の充実		掲載	P68・P69
主な実施事業(取組)	○救急ワークステーションの開設 ○消防団の充実と組織強化 ○住警器設置率向上に向けた周知		○消防車両等の計画的な更新 ○救急救命士の確保と指導救命士の養成 ○応急手当講習等の実施			
目標値	項目	単位	現況値	目標値(R3)	実績値(R2)	達成状況
	救急救命士有資格者数	名	33 (H27年度)	40	41	達成
	消防団員充足率	%	91.2 (H27年度)	100	95.1	未達成
	広報指導分団員数	名	-	30	17	未達成
アンケート結果	満足度（どちらかと言えば満足以上と回答した割合）				41.0%	↑★ →
	重要度（やや重要以上と回答した割合）				75.1%	
担当課コメント	<p>○救急救命士の養成については、計画どおりに実施することが出来たが、今後、救急救命士の退職が見込まれることから、継続して養成していく必要がある。また、救急隊員の技術向上の研修も実施し、技術力向上を図ることが出来た。今後も救急ワークステーションの活用等により、救急隊員の技術力向上を図る必要がある。</p> <p>○消防団員の確保については、人口減少率を下回る団員の減少率であり一定程度の成果があったと考えている。今後は消防団組織の再編や機能別団員制度の導入などにより、人口減少と高齢化に対応しながら消防団員の確保に努める必要がある。</p> <p>○老朽化施設の更新については、公共施設マネジメントプログラムに基づき今後も計画的に進めていく必要がある。</p>					

政策No	4-2	政策名	防災体制の充実			掲載	P70・P71
主な実施事業(取組)	○国土強靱化計画の策定 ○防災訓練の実施 ○防災士養成講座の実施			○避難所WIFIの設置 ○出前講座の実施 ○防災行政無線システムの更新			
目標値	項目	単位	現況値	目標値(R3)	実績値(R2)	達成状況	
	自主防災組織	組織	197 (H27年度)	224	213	未達成	
	防災士	人	68 (H27年度)	200	207	達成	
アンケート結果	満足度（どちらかと言えば満足以上と回答した割合）				37.3%		
	重要度（やや重要以上と回答した割合）				72.9%		
担当課コメント	<p>○国土強靱化計画に基づく整備として、避難所にWIFIやソーラーライトの設置工事を実施した。今後も計画に沿った整備を進め、あらゆる災害に対応できる対策を図る必要がある。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症対策に対応した避難所設置訓練を実施した。今後も訓練等を通じて、危険回避能力の育成を図り、災害に強い地域づくりを進める必要がある。</p> <p>○出前講座と合わせてマイタイムライン（逃げ地図づくり）を進めてきたが、コロナ禍により十分な実施には至らなかった。今後も防災意識の向上に努める必要がある。</p>						

政策No	4-3	政策名	防犯体制の充実と交通安全対策の推進			掲載	P72・P73
主な実施事業(取組)	○防犯灯の新設・修繕 ○むらかみ防犯ねっとを活用した被害防止 ○交通安全教室の実施			○町内・集落へ防犯灯設置費の補助 ○消費生活センターでの相談受付 ○カーブミラーの新設・修繕			
目標値	項目	単位	現況値	目標値(R3)	実績値(R2)	達成状況	
	市民の自主防犯活動団体数	団体	3 (H27年度)	10	4	未達成	
	刑法犯の発生件数	件	376 (H27年度)	250	130	達成	
	交通事故発生件数	件	145 (H27年度)	70	94	未達成	
アンケート結果	満足度（どちらかと言えば満足以上と回答した割合）				30.3%		
	重要度（やや重要以上と回答した割合）				74.1%		
担当課コメント	<p>○防犯灯の修繕やLED灯具への交換を速やかに実施してきたが、専用柱については経年劣化が著しいため、順次建替えを行う必要がある。</p> <p>○各種犯罪の予兆段階で啓発活動を実施し、未然に被害防止に努めてきたが、年々、巧妙化する特殊詐欺等の被害防止のため、警察等との連携を強化し継続した啓発活動が必要である。</p> <p>○市内における交通事故件数は減少傾向にあり一定の成果を得たが、高齢者が関係する事故件数の割合が高いことから、高齢者を対象とした交通安全教室や啓発活動を積極的に実施していく必要がある。</p>						

政策No	5-1	政策名	"郷育"の推進と学習環境の整備			掲載	P74・P75
主な実施事業(取組)	○学校統合 ○キャリア教育の推進 ○非常勤講師の配置			○"郷育"への市民参画 ○登下校時の見守り活動 ○特別支援教育の推進			
目標値	項目	単位	現況値	目標値(R3)	実績値(R2)	達成状況	
	活動したボランティア延べ人数	人	27,696 (H27年度)	30,000	13,007	未達成	
	不登校発生率	%	小学校 0.76 中学校 3.31	小学校 0.7以下 中学校 2.0以下	小学校 0.77 中学校 4.97	未達成	
	体力テストでの優位項目数 (全国又は県との比較)	項目	小5男子4・女子7 中2男子3・女子3	小5男子5・女子7 中2男女各4	未実施	-	
	NRT偏差値平均	値	小6国語53.4算数53.4 中3国語50.1数学46.6	小6国語55.0算数55.0 中3国語50.5数学50.0	小6国語52.1算数52.4 中3国語48.3数学47.3	未達成	
アンケート結果	満足度(どちらかと言えば満足以上と回答した割合)				27.9%		
	重要度(やや重要以上と回答した割合)				67.0%		
担当課コメント	<p>○"郷育"教育への市民参画など、地域の子どもを地域のみinnで育てる取組により、学校と地域の距離が縮まり、一体となった体制づくりができた。今後も多様化するニーズに対応した郷育の推進を図る必要がある。</p> <p>○教育ニーズに対応するため、非常勤講師の配置や特別支援学級への介助員の配置により、学力向上や特別な介助を要する児童生徒への支援のほか、ICT機器の充実など教育環境の整備に努めてきた。今後も個に応じたきめ細やかな指導に努める必要がある。</p>						

政策No	5-2	政策名	生涯を通じた学習の推進			掲載	P76・P77
主な実施事業(取組)	○荒川地区公民館の建設 ○地域学習講座の実施 ○読書ボランティアの養成			○図書館ネットワーク事業の実施 ○放課後子ども教室の実施 ○高齢者大学生による学校ボランティアの参画			
目標値	項目	単位	現況値	目標値(R3)	実績値(R2)	達成状況	
	学習展開目的講座の開設数	講座	1 (H27年度)	5	1	未達成	
	講座参加者同士によるサークル等団体の形成	団体	-	3	0	未達成	
アンケート結果	満足度(どちらかと言えば満足以上と回答した割合)				20.8%		
	重要度(やや重要以上と回答した割合)				57.1%		
担当課コメント	<p>○施設のバリアフリー化や学習室の整備など、住民ニーズに対応した学習環境の整備に努めた。</p> <p>○図書館ネットワーク事業等により、市域全体への図書館サービスの提供に努めた。今後も市民の読書活動の支援に努める必要がある。</p> <p>○地域学習講座により、各地区の特性を活かした歴史講座や文化事業を展開することが出来た。</p> <p>○高齢者が学習活動の支援に参画することで、各々が持つ知識技術の伝承と成果の発揮がなされた。</p>						

政策No	5-3	政策名	文化財の保存活用と芸術・文化の振興		掲載	P78・P79
主な実施事業(取組)	○史跡村上城跡保存活用計画の策定		○史跡整備と現地説明会の開催			
	○古文書資料集の刊行		○文化財関連の企画展と講座の実施			
	○文化財に係る出前講座		○村上市美術展覧会の開催			
目標値	項目	単位	現況値	目標値(R3)	実績値(R2)	達成状況
	村上城跡石垣修復面積	m <sup>2</sup>	313.5 (H27年度)	413.5	363.1	未達成
	平林城跡樹木間伐面積	ha	4.3 (H27年度)	6.3	6.29	未達成
	国史跡の便益施設、ガイダンス施設の整備	件	-	3	3	達成
アンケート結果	満足度（どちらかと言えば満足以上と回答した割合）				22.3%	↑ ★
	重要度（やや重要以上と回答した割合）				46.0%	
担当課コメント	<p>○史跡村上城跡保存活用計画を策定し、村上城跡及び平林城跡では史跡整備を継続して実施し、現地見学会では参加者から好評を得た。引き続き計画的に整備を進めるとともに、多様な視点での活用を推進する必要がある。</p> <p>○漆取引や廻船業などを営み村上藩との関係の深い上中島板垣家所蔵の古文書資料集を刊行し、歴史資料の記録保存と公開を行った。</p> <p>○指定管理施設の企画展では、新型コロナウイルス感染症の影響により来館者数は例年の半数程度であった。今後も感染症対策を徹底した上で郷土の歴史や文化の普及啓発に努める必要がある。</p>					

政策No	5-4	政策名	生涯スポーツと競技スポーツの推進		掲載	P80・P81
主な実施事業(取組)	○スポーツ団体への支援		○学校開放の実施			
	○スケートパークの建設		○スケートボードの普及促進			
	○競技スポーツの強化		○スケートボードトップアスリートの育成			
目標値	項目	単位	現況値	目標値(R3)	実績値(R2)	達成状況
	スポーツ事業参加者数	人	70,757 (H27年度)	74,000	54,397	未達成
	スポーツ施設利用者数	人	481,769 (H27年度)	492,000	298,340	未達成
	体験型スポーツイベントの実施	件	-	1	0	未達成
アンケート結果	満足度（どちらかと言えば満足以上と回答した割合）				18.0%	↑ ★
	重要度（やや重要以上と回答した割合）				47.3%	
担当課コメント	<p>○スポーツ団体への支援や総合型スポーツクラブへの事業委託により、子どもから高齢者まで気軽にスポーツを楽しむ、健康増進や体力向上を図ることが出来た。</p> <p>○スケートボードのみならず、ボルダリングやスラックラインなどのニュースポーツを体験できる施設整備を行った。また、総合型スポーツクラブ等との連携により、市民がニュースポーツに親しむ体制整備も図った。</p> <p>○スケートパークでは、日本選手権の開催や、インドネシア、大韓民国の代表合宿を受け入れた。今後もスケートボード体験教室やトップ選手の競技を体感する機会を創出するなど、競技スポーツに対する関心を高め、トップアスリートの育成に努める必要がある。</p>					

政策No	6-1	政策名	平等社会と多文化共生の推進			掲載	P82・P83
主な実施事業(取組)	○人権啓発講演会の開催 ○ハローワーク村上と共催で研修会の実施 ○各種制度のパンフレット配布			○人権に関する映画上映会の開催 ○市審議会等への女性登用の推進 ○男女共同参画計画の策定			
目標値	項目	単位	現況値	目標値(R3)	実績値(R2)	達成状況	
	人権講演会の参加者数	人	263 (H27年度)	400	未実施	-	
	研修会の参加者数	人	80 (H27年度)	120	47	未達成	
	各種委員の女性登用数	人	167 (H27年度)	209	123	未達成	
アンケート結果	満足度（どちらかと言えば満足以上と回答した割合）				18.4%		
	重要度（やや重要以上と回答した割合）				57.2%		
担当課コメント	<p>○講演会等の参加者を対象としたアンケート調査では、人権への関心や理解が深まったとの回答割合が高く、一定の成果が得られたが、参加実績の低い若い世代や男性に対して人権啓発に努めていく必要がある。</p> <p>○審議会等における女性委員比率は減少傾向にあり、引き続き各種委員への女性登用を推進するため、各課への呼びかけが必要である。</p> <p>○各種制度を周知するチラシ等を効果的に配置・配布するため、ホームページ等を活用した啓発活動の充実を図る必要がある。</p>						

政策No	6-2	政策名	市民協働のまちづくりの推進			掲載	P84・P85
主な実施事業(取組)	○地域人材育成事業の実施 ○集落支援員の導入 ○婚活支援事業交付金の交付			○地域まちづくり交付金の交付 ○地域おこし協力隊の配置 ○まちづくりに関する情報発信			
目標値	項目	単位	現況値	目標値(R3)	実績値(R2)	達成状況	
	まちづくり拠点（延べ）	件	2 (H27年度)	5	2	未達成	
	地域おこし協力隊の隊員数	人	4 (H27年度)	10	7	未達成	
	婚活事業によるカップル成立数（累計）	組	44 (H27年度)	100	115	達成	
アンケート結果	満足度（どちらかと言えば満足以上と回答した割合）				20.8%		
	重要度（やや重要以上と回答した割合）				50.6%		
担当課コメント	<p>○地域人材育成の研修会の開催等により、まちづくりを主体的に担う人材は現れているが、自立までには至っていない。また、地域の各種団体間の連携も生まれてはいるが、地域課題の解決に向けた取組をさらに広げていく必要がある。</p> <p>○各まちづくり協議会において住民交流等の事業は実施され、コミュニティの維持・融和が進められているが、今後は将来の人口減に備えた取組にも広げていく必要がある。</p> <p>○地域おこし協力隊を配置し、地域活性化に繋がったケースもあるが、任期途中での退任もあったことから、今後は隊員と地域とのマッチングを一層図り、人材の確保に努める必要がある。</p>						



政策No	6-3	政策名	広報広聴事業の推進			掲載	P86・P87
主な実施事業(取組)	○ホームページの再構築 ○市長とのふれあいトークの実施			○ソーシャルネットワークサービスの開設 ○市政提案・パブリックコメントの実施			
目標値	項目	単位	現況値	目標値(R3)	実績値(R2)	達成状況	
	ホームページ全アクセス数	件	3,567,072 (H27年度)	5,000,000	4,276,104	未達成	
	ふれあいトーク参加者数	人	313 (H27年度)	500	未実施	-	
アンケート結果	満足度(どちらかと言えば満足以上と回答した割合)				37.1%		
	重要度(やや重要以上と回答した割合)				50.5%		
担当課コメント	<p>○市ホームページの情報を整理したほか、スマートフォン専用のデザイン構築を行い、利用者の利便性向上を図った。また、公式facebookとYouTubeを活用し、行政情報のみならず地域の話題等の発信も図った。今後もタイムリーな情報発信に努める必要がある。</p> <p>○ふれあいトークの対象者を学生とするなど、地域課題やまちづくり等に関心を持ってもらうとともに将来についても考えてもらう機会を設けた。また、パブリックコメントについては、様々な広報媒体を利用して広く市民の意見聴取が図られたが、今後も意見を出しやすい環境整備を図る必要がある。</p>						

政策No	6-4	政策名	ICT・情報化の整備推進			掲載	P88・P89
主な実施事業(取組)	○基幹系システムサーバ類の外部設置 ○情報通信施設の維持・修繕			○神林地区告知システムの更新 ○セキュリティ研修の実施			
目標値	項目	単位	現況値	目標値(R3)	実績値(R2)	達成状況	
	職員のセキュリティ研修の受講率(受講対象者)	%	71 (H27年度)	100	89	未達成	
アンケート結果	満足度(どちらかと言えば満足以上と回答した割合)				22.9%		
	重要度(やや重要以上と回答した割合)				53.1%		
担当課コメント	<p>○基幹系システムのサーバ類を外部のデータセンターに設置したことにより、システム障害に対する迅速な対応・災害対策・セキュリティの強靱化が図られた。</p> <p>○神林地区の通信設備を更新し、告知サービスの安定的な提供を図ったが、放送設備に関しては相当程度年数が経過しているものの、機器の更新が未実施であるため、今後は計画的な更新が必要である。</p>						

政策No	6-5	政策名	行財政改革の推進			掲載	P90・P91
主な実施事業(取組)	○コンビニ収納の導入 ○県職員研修所等での外部研修への参加 ○プロジェクトチームによる横断的な対応			○市主催職員研修の実施 ○人事評価の実施 ○指定管理者制度の新規導入			
目標値	項目	単位	現況値	目標値(R3)	実績値(R2)	達成状況	
	市税の収納率(現年度)	%	98.94 (H27年度)	99以上	99.03	達成	
	評価実施事業数	事業	35 (H27年度)	130	10	未達成	
	指定管理者制度新規導入施設	施設	-	5	9	達成	
アンケート結果	満足度(どちらかと言えば満足以上と回答した割合)				14.9%		
	重要度(やや重要以上と回答した割合)				57.9%		
担当課コメント	<p>○市税のコンビニ収納を平成29年度から実施した。加えてスマートフォンによる収納も導入し、収納件数の約14%を占めている。今後も納税しやすい体制づくりに努める必要がある。</p> <p>○外部研修を積極的に受講することで、各種業務の専門知識やスキルの取得につながり、各々の業務で活用している。今後も市民ニーズに対応できる職員の育成を図る必要がある。</p> <p>○指定管理者制度の導入により、民間のノウハウを活用した住民サービスの向上や、新たな雇用の創出及び経費の節減が図られ、一定の成果が得られた。今後も施設の性質や利用状況等に応じ、効果を見極めながら制度の導入を進めていく必要がある。</p>						

政策No	6-6	政策名	広域行政の推進			掲載	P92・P93
主な実施事業(取組)	○図書館事業 ○斎場運営事業 ○婚活事業			○ごみ処理施設運営事業 ○広域消防事業 ○職員研修事業			
目標値	項目	単位	現況値	目標値(R3)	実績値(R2)	達成状況	
	定住自立圏共生ビジョン掲載事業数	件	28 (H27年度)	30	29	未達成	
アンケート結果	満足度(どちらかと言えば満足以上と回答した割合)				14.5%		
	重要度(やや重要以上と回答した割合)				50.8%		
担当課コメント	<p>○本市を中心として隣接する関川村・栗島浦村と平成27年に協定を締結し、地域特性を生かしながら、定住自立圏共生ビジョンに掲載された各種事業を実施した。掲載事業の一つとして3市村職員の企画力向上と職員交流を目的に婚活事業を実施し一定の成果を得た。今後も近隣村との連携を図り、魅力ある地域づくりの取組を進める必要がある。</p>						